

# 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース/日本円コース/ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース

追加型投信/内外/資産複合

基準日：2020年1月31日

## 「為替ヘッジなしコース」の運用状況

信託期間：2015年2月19日 から 2020年2月18日 まで

決算日：毎月18日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：5655

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

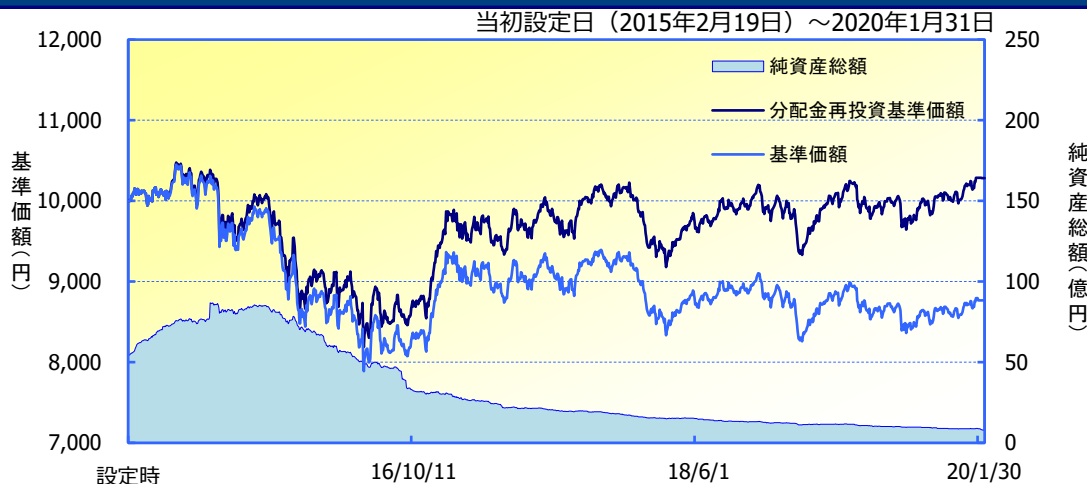
### 《基準価額・純資産の推移》

2020年1月31日現在

基準価額	8,765 円
純資産総額	775百万円

#### 期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+0.4 %
3か月間	+2.0 %
6か月間	+2.5 %
1年間	+5.5 %
3年間	+6.9 %
5年間	-----
年初来	+0.4 %
設定来	+2.8 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

### 《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~45期 合計:	1,125円
第46期 (19/02)	25円
第47期 (19/03)	25円
第48期 (19/04)	25円
第49期 (19/05)	25円
第50期 (19/06)	25円
第51期 (19/07)	25円
第52期 (19/08)	25円
第53期 (19/09)	25円
第54期 (19/10)	25円
第55期 (19/11)	25円
第56期 (19/12)	25円
第57期 (20/01)	25円
分配金合計額	設定来: 1,425円 直近12期: 300円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

### 《ファンドマネージャーのコメント》

ファンドの満期償還に向けて、1月中旬よりわが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に移行いたしました。それに伴い、株式、債券、為替等の値動きによる基準価額の変動はほとんどなくなりました。これまで長きにわたり、当ファンドをご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

# 「日本円コース」の運用状況

信託期間 : 2015年2月19日 から 2020年2月18日 まで  
 決算日 : 毎月18日(休業日の場合翌営業日)

回次コード : 5656

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

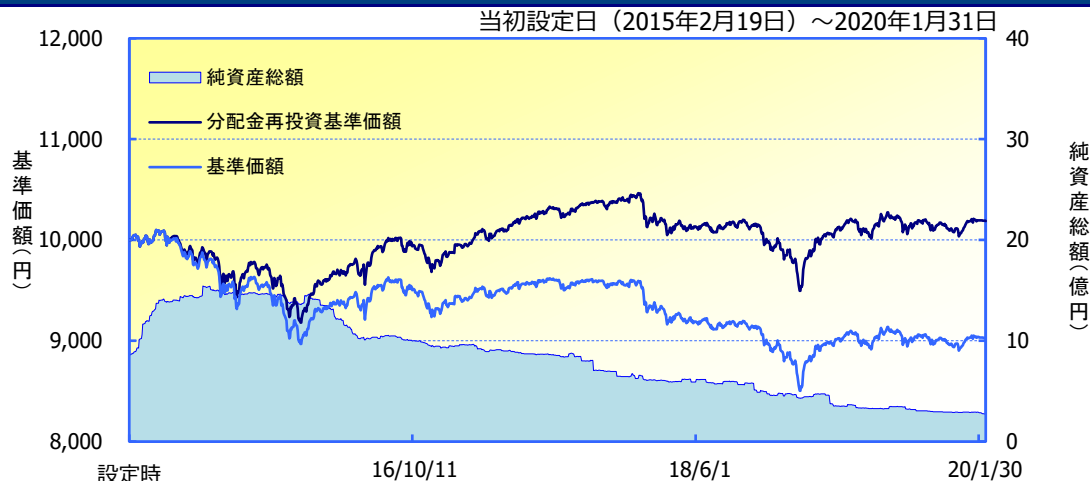
## 「基準価額・純資産の推移」

2020年1月31日現在

基準価額	9,029 円
純資産総額	269百万円

### 期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.1 %
3カ月間	+0.4 %
6カ月間	-0.2 %
1年間	+2.1 %
3年間	+2.5 %
5年間	-----
年初来	-0.1 %
設定来	+1.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～45期	合計: 1,055円
第46期 (19/02)	15円
第47期 (19/03)	15円
第48期 (19/04)	5円
第49期 (19/05)	5円
第50期 (19/06)	5円
第51期 (19/07)	5円
第52期 (19/08)	5円
第53期 (19/09)	5円
第54期 (19/10)	5円
第55期 (19/11)	5円
第56期 (19/12)	5円
第57期 (20/01)	5円
分配金合計額	設定来: 1,135円 直近12期: 80円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 「ファンドマネージャーのコメント」

ファンドの満期償還に向けて、1月中旬よりわが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に移行いたしました。それに伴い、株式、債券、為替等の値動きによる基準価額の変動はほとんどなくなりました。これまで長きにわたり、当ファンドをご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

# 「ブラジル・リアル・コース」の運用状況

信託期間 : 2015年2月19日 から 2020年2月18日 まで  
 決算日 : 毎月18日(休業日の場合翌営業日)

回次コード : 5657

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

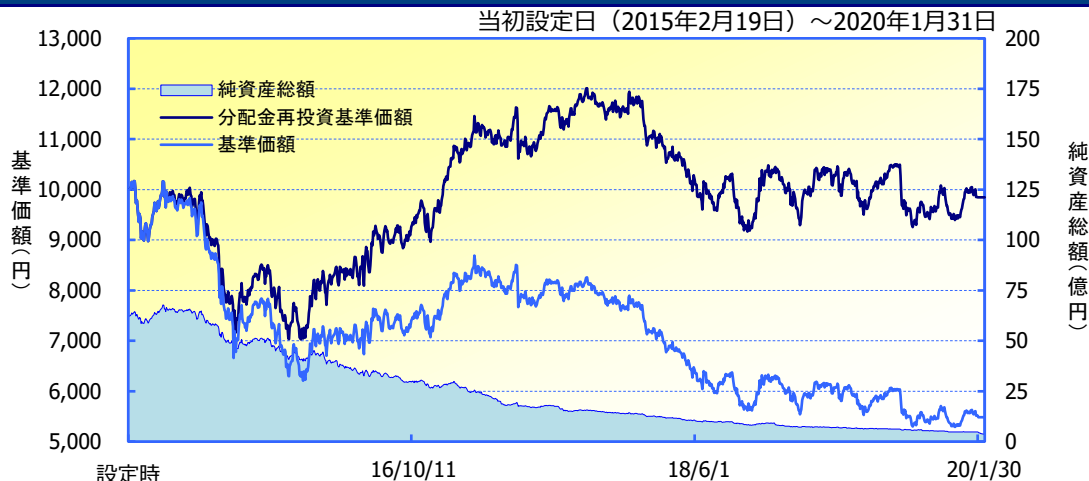
## 「基準価額・純資産の推移」

2020年1月31日現在

基準価額	5,483 円
純資産総額	367百万円

### 期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	-2.0 %
3か月間	-1.2 %
6か月間	-5.7 %
1年間	-3.6 %
3年間	-10.3 %
5年間	-----
年初来	-2.0 %
設定来	-1.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～45期	合計: 3,905円
第46期 (19/02)	30円
第47期 (19/03)	30円
第48期 (19/04)	30円
第49期 (19/05)	30円
第50期 (19/06)	30円
第51期 (19/07)	30円
第52期 (19/08)	30円
第53期 (19/09)	30円
第54期 (19/10)	30円
第55期 (19/11)	30円
第56期 (19/12)	30円
第57期 (20/01)	30円
分配金合計額	設定来: 4,265円 直近12期: 360円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 「ファンドマネージャーのコメント」

ファンドの満期償還に向けて、1月中旬よりわが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に移行いたしました。それに伴い、株式、債券、為替等の値動きによる基準価額の変動はほとんどなくなりました。これまで長きにわたり、当ファンドをご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

# 「通貨セレクト・コース」の運用状況

信託期間 : 2015年2月19日 から 2020年2月18日 まで  
 決算日 : 毎月18日(休業日の場合翌営業日)

回次コード : 5658

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

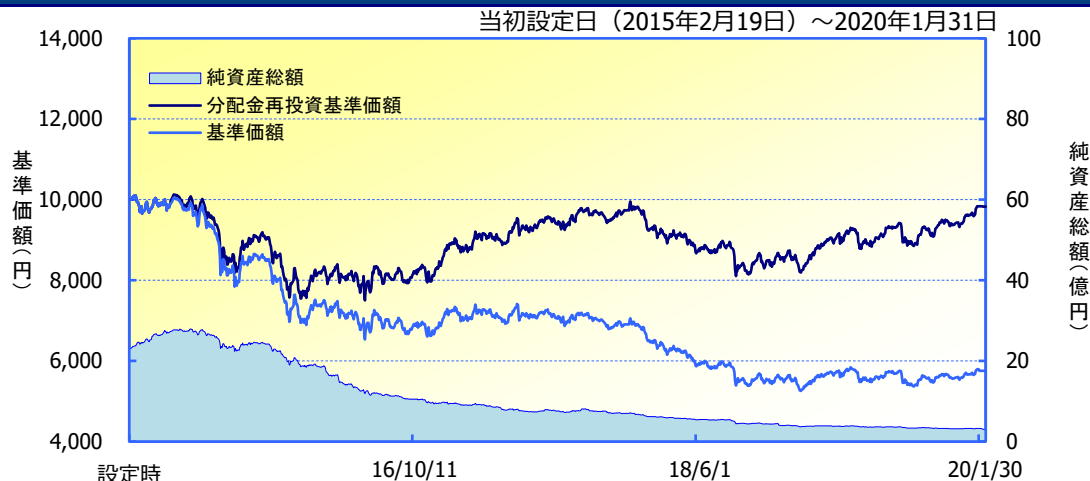
## ≪基準価額・純資産の推移≫

2020年1月31日現在

基準価額	5,751 円
純資産総額	290百万円

### 期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+1.5 %
3カ月間	+3.7 %
6カ月間	+4.4 %
1年間	+12.3 %
3年間	+11.5 %
5年間	-----
年初来	+1.5 %
設定来	-1.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## ≪分配の推移≫

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～45期	合計: 3,200円
第46期 (19/02)	40円
第47期 (19/03)	40円
第48期 (19/04)	40円
第49期 (19/05)	40円
第50期 (19/06)	40円
第51期 (19/07)	40円
第52期 (19/08)	40円
第53期 (19/09)	40円
第54期 (19/10)	40円
第55期 (19/11)	40円
第56期 (19/12)	40円
第57期 (20/01)	40円
分配金合計額	設定来: 3,680円 直近12期: 480円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## ≪ファンドマネージャーのコメント≫

ファンドの満期償還に向けて、1月中旬よりわが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に移行いたしました。それに伴い、株式、債券、為替等の値動きによる基準価額の変動はほとんどなくなりました。これまで長きにわたり、当ファンドをご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

## 【市場動向】

### 1月中旬までの株式はおおむね上昇、債券は上昇（金利低下）

1月中旬までの世界の株式市場はおおむね上昇しました。米国とイランの関係悪化が懸念され弱含む場面が見られたものの、米中の合意署名への期待などから、株価は上昇しました。

債券市場では、金利は低下しました。米国とイランの関係悪化が懸念されリスク回避の動きが強まったことなどが金利低下につながりました。

### 為替市況

#### （為替ヘッジなしコース）

1月中旬までの米ドルは対円で上昇しました。月初の中東情勢の緊迫化を受けて、リスク回避の動きが円高につながったことから、一時的に米ドルは対円で下落しました。その後は、懸念が後退するとともに、米中の合意署名への期待などから米ドルは対円で反発しました。

#### （ブラジル・リアル・コース）

1月中旬までのブラジル・リアルは対円で下落しました。月初の中東情勢の緊迫化を受けて、リスク回避の動きが円高につながったことなどから、ブラジル・リアルは対円で下落しました。

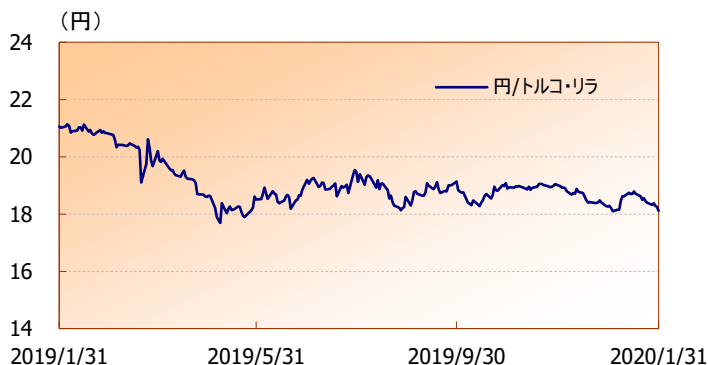
#### （通貨セレクト・コース）

1月中旬までの選定通貨は対円で上昇しました。中東情勢緊迫化への懸念の後退や米中の合意署名への期待などから、市場のリスク選好度が強まったことで、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、メキシコ・ペソ、中国人民元は対円で上昇しました。

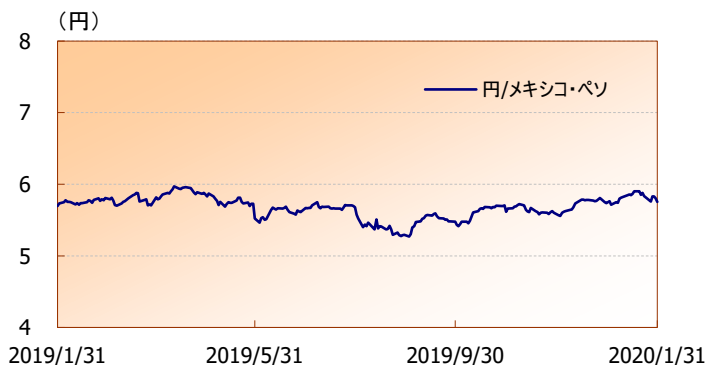
### ブラジル・レアル



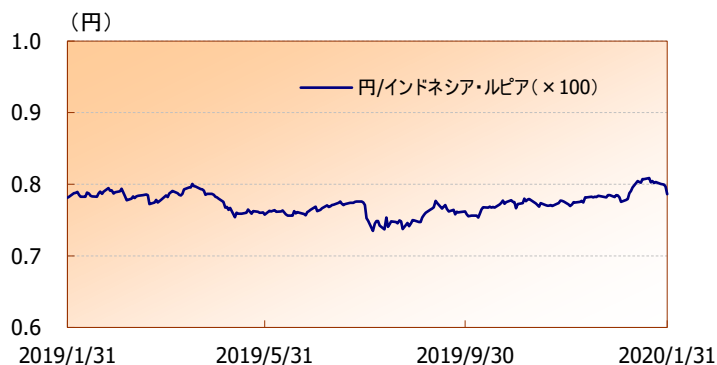
### トルコ・リラ



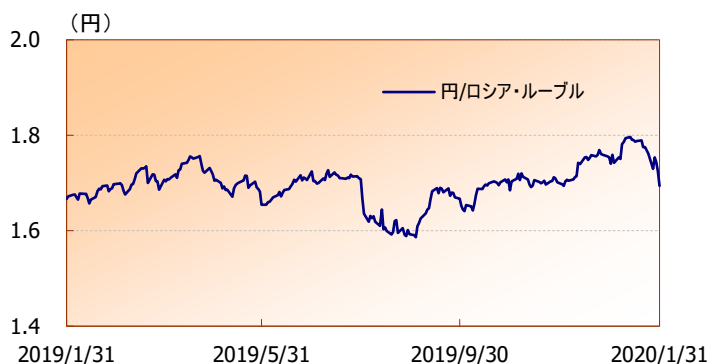
### メキシコ・ペソ



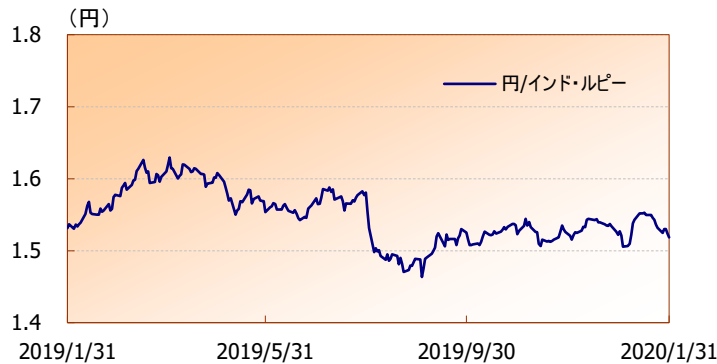
### インドネシア・ルピア



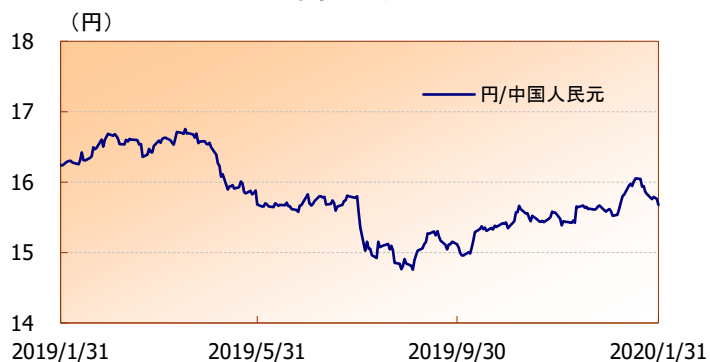
### ロシア・ルーブル



### インド・ルピー



### 中国人民元



※上記は1月の選定通貨の市況データです。

(出所)ブルームバーグおよび各種データより大和投資信託作成

## 《ファンドの目的・特色》

### ファンドの目的

- 世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

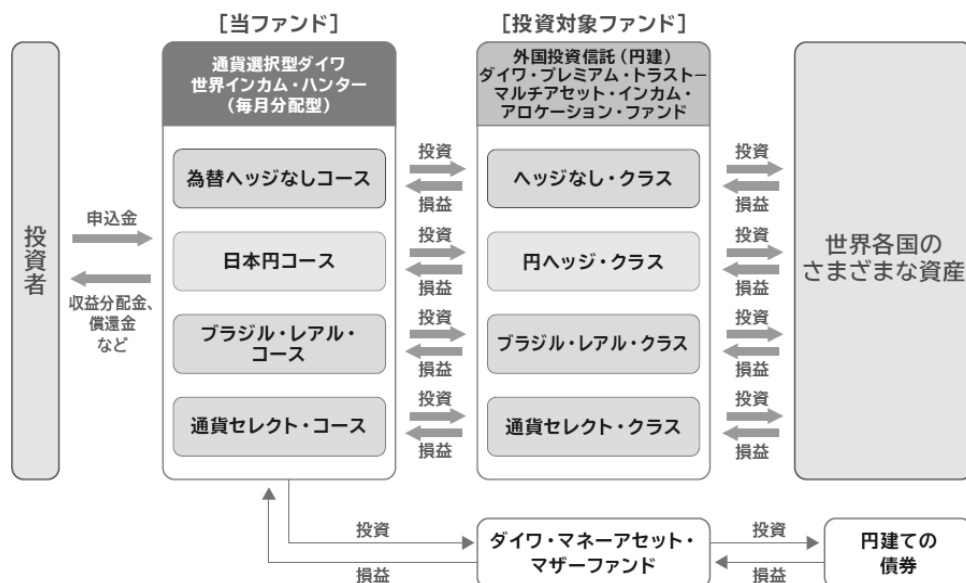
### ファンドの特色

1. 世界各国のさまざまな資産に投資します。
  2. 投資環境に応じて、各資産の配分比率を機動的に調整します。
  3. 為替取引を活用します。
- ◆当ファンドには「為替ヘッジなしコース」と為替取引を行なう3つのコースがあります。



※4つのコースの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。

4. 毎月18日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
  5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、世界各国のさまざまな資産に投資し、「為替ヘッジなしコース」を除き、投資対象とする資産について為替取引を行ないます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース：為替ヘッジなしコース
  - 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース：日本円コース
  - 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース
  - 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース
- ◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「ントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※＜為替ヘッジなしコース＞は、組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。また米ドル以外の通貨の資産にも投資を行なうため、当該資産の通貨の為替変動の影響を受けます。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※＜日本円コース＞は、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※＜ブラジル・リアル・コース、通貨セレクト・コース＞は、取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。投資対象資産の通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する投資対象資産の通貨の為替変動の影響を受けます。なお、取引対象通貨の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※＜為替ヘッジなしコース＞以外について、投資対象とする資産の通貨のうち一部の通貨について、為替取引が困難、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、為替取引を行わない場合があるため、取引対象通貨以外の為替変動の影響を受けることがあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。



## 《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 <b>3.3% (税抜 3.0%)</b> スイッチング (乗換え) による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<b>年率 1.2375% (税抜 1.125%)</b>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	「為替ヘッジなしコース」 年率 0.77%程度 「日本円コース」 「ブラジル・リアル・コース」 年率 0.80%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.92%程度  この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「為替ヘッジなしコース」 <b>年率 2.0075% (税込) 程度</b> (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「日本円コース」、 「ブラジル・リアル・コース」 <b>年率 2.0375% (税込) 程度</b> (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 <b>年率 2.1575% (税込) 程度</b> (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注) 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

## 《収益分配金に関する留意事項》

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

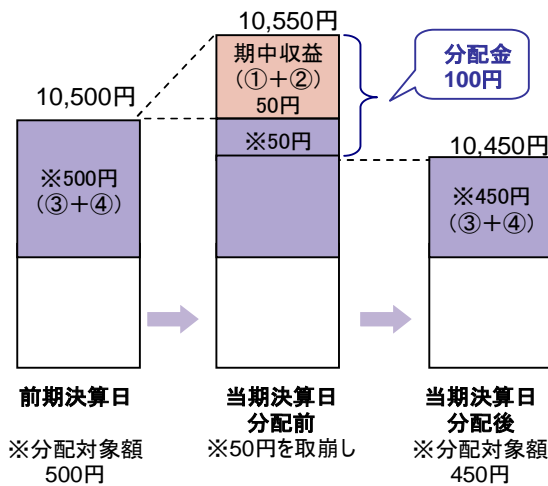
投資信託で分配金が支払われるイメージ



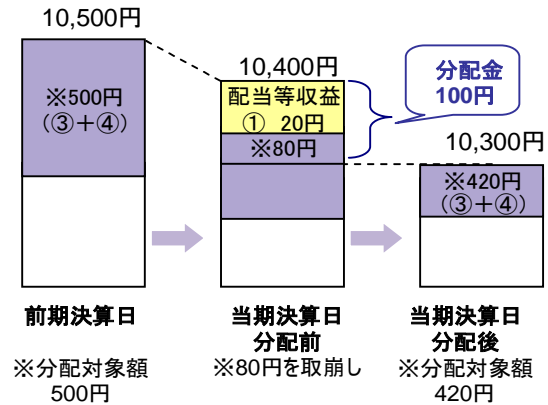
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



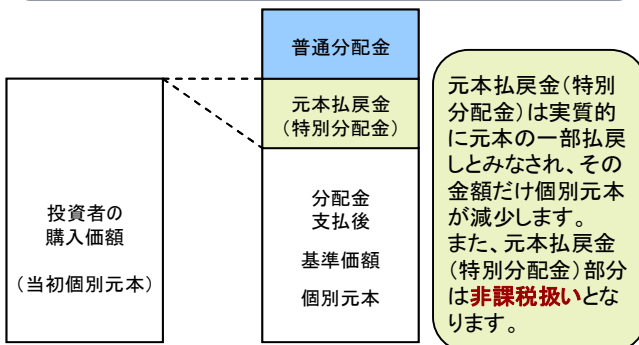
#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



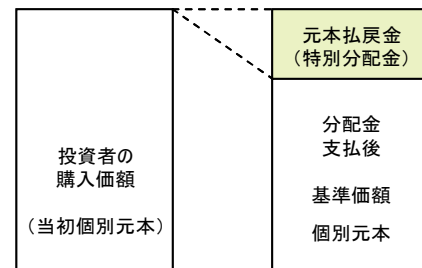
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

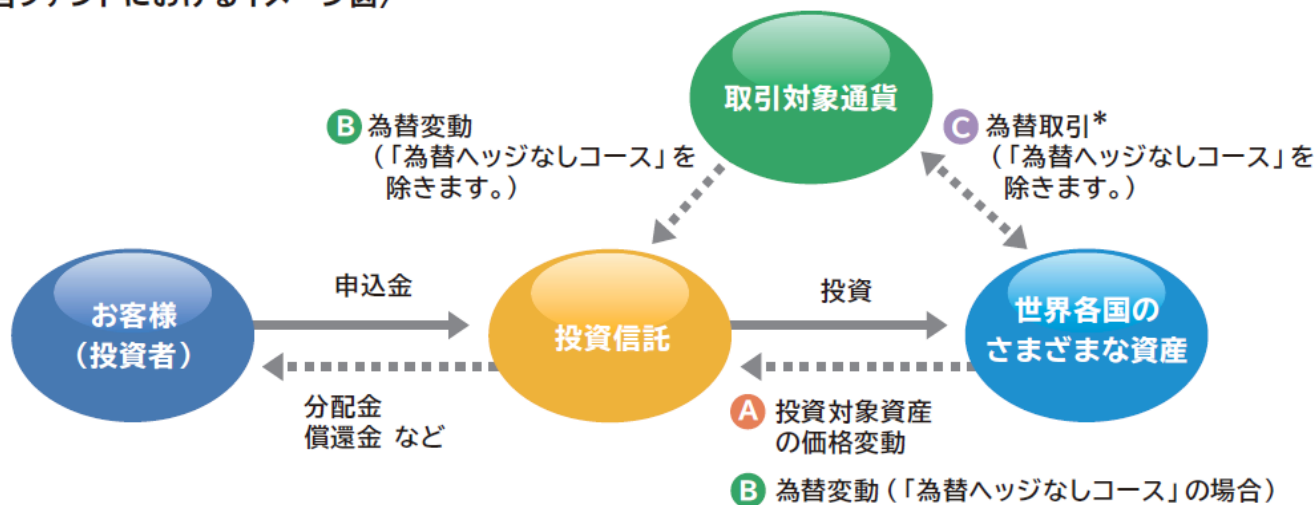
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

## 《通貨選択型ファンドの収益のイメージ》

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

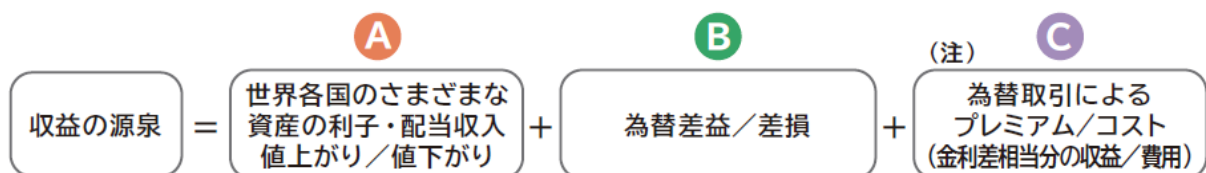
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



\*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



収益を得られるケース	<p>↑ 世界各国のさまざまな資産の価格の上昇、利子・配当収入</p> <p>↑ 為替差益の発生</p> <p>↑ 取引対象通貨 &gt; 投資対象資産の短期金利 &gt; 通貨の短期金利</p> <p>↑ プレミアム (金利差相当分の収益) の発生</p>
損失やコストが発生するケース	<p>↓ 世界各国のさまざまな資産の価格の下落</p> <p>↓ 為替差損の発生</p> <p>↓ 取引対象通貨 &lt; 投資対象資産の短期金利 &lt; 通貨の短期金利</p> <p>↓ コスト (金利差相当分の費用) の発生</p>

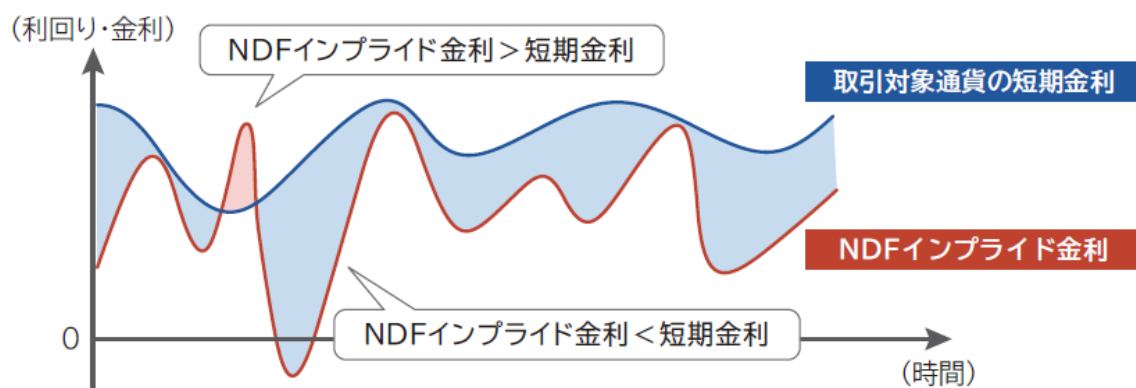
(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際に、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

## 《NDF取引とは》

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

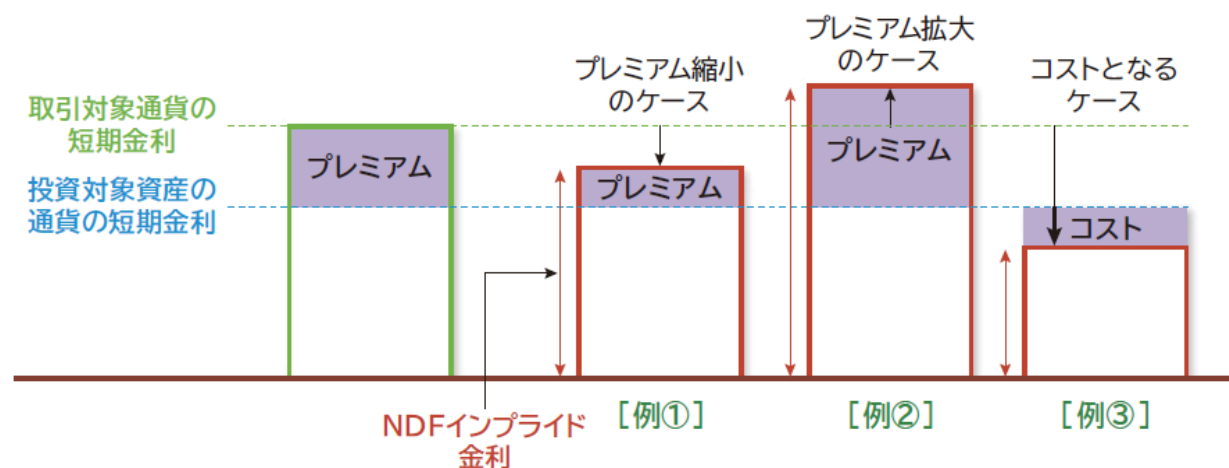
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

## NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。  
※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

## 《当資料のお取り扱いにおけるご注意》

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和投資信託** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。